

JR連合NEWS ~2025春闘~

No. 9

NE TEAMで もっと賃上げ・生活改善

労働条件改善を加速させ、人財の確保・定着につなげよう

2025年3月11日

日本鉄道労働組合連合会

JR連合京海地協 2025春季生活聞争勝

Ⅰ R連合東海地方協議会は2月10日、名古屋市内で「2025春季生活闘争討 論集会 | を開催。昨年を上回る賃上げや春季生活闘争の機会を通じた組織強化・拡 大などの実現を目指し、ONE TEAMで統一闘争を展開する決意を固めあった。



鎌田隆司議長

集会には、JR連合東海地協に集う各単組から総勢約60名 が結集。来賓としてJR連合国会議員懇談会の伴野豊副会長 (衆議院議員)、中部交運労協の森嶋和夫事務局長、JR東海 ユニオン地方議員団会議の河合洋介議長(愛知県議会議員) が参加し、JR連合からは石川敏也産業政策局長が出席した。

主催者を代表して挨拶に立った鎌田隆司議長(JR東海ユ ニオン中央執行副委員長) は、「未来を見据えた人財への投資 は会社の成長投資。JR産業の責任産別の一員として、各単 組の役割を全うし、全力で2025春季生活闘争に取り組ん でいこう」と力強く呼びかけた。

J R連合の石川産業政策局長は今次春闘を取り巻く情勢を説明し、「物価高に負 けない賃上げを勝ち取るとともに、春闘の取り組みを通じて労働組合の有用性、存 在意義を発信し、組織の強化・拡大につなげる必要がある」との考えを示した。

全体討論では、参加した全 18 単組(| R東海ユニオン、 | R西労組、貨物鉄産 労、東海交通事業労組、東海交通機械労組、ジェイアール東海建設労組、松浦商店 労組、東海整備労組、ジェイアール東海情報システム労組、新生テクノス労組、ジ ェイアール東海物流労組、ジェイアール東海リテイリングプラス労組、JR東海バ スユニオン、ジェイアール東海エージェンシー労組、ジェイアール東海ホテルズ労 組、ジェイアール東海コンサルタンツ労組、ジェイアール東海ツアーズ労組、セン

トラルメンテナンス労組)の代表 者が決意を表明し、集会を盛り上 げた。

最後に、青年女性委員会の高橋 亮太委員長が集会アピールを提 起。これを採択し、鎌田議長の力 強い団結ガンバローで閉会した。

